

知ってた!? 隠れたまちの アレコレ

市内の知られざるスポット
を調査してきました

Vol. 06 作家ゆかりの地を巡って

市内には、詩人・小説家などの文学者ゆかりの地が多くあります。今回は、2人の作家にまつわる場所をご紹介します。その場所の名前の由来や、エピソードを知ると、作品がより味わい深くなるかもしれません。



高山樗牛の「瞑想の松」

青葉区小松島にある東北医科薬科大学の構内に、「瞑想の松」と名付けられた樹齢620年以上のクロマツの古木があります。名前の由来は、明治時代に文芸評論家として活躍した高山樗牛が、旧制二高在学時に、この松の下で瞑想にふけたとされたことから来ているそうです。

松のそばには、樗牛の知友で、「荒城の月」の作詞でも知られる仙台市出身の詩人・土井晩翠が、樗牛を思い詠んだ短歌が刻まれています。展望台も設置されているので、街の喧騒を離れ、高台からの風景を眺めながら、樗牛が過ごした時代に思いをはせてみてはいかがでしょうか。



▲「瞑想の松」展望台からの眺望



「瞑想の松」は、昭和50年に市の保存樹木に指定されています



「初恋通り」の先に「名掛丁藤村広場」があり、広場には「若菜集」の表紙になった蝶がカラーブロックで描かれています



▲「若菜集」は日本近代詩の先駆けと言われ、詩碑には「日本近代詩発祥の地」と刻まれています



島崎藤村の下宿・三浦屋跡



詩人・小説家として知られる島崎藤村は、明治29年、24歳の時に、教師として東北学院に赴任し、10カ月程を仙台で過ごしました。藤村は、仙台駅東口からほど近い宮城野区名掛丁にかつてあった下宿・三浦屋に暮らし、そこで詩の創作に励みます。藤村の第一詩集「若菜集」には、この仙台の地で書かれた詩が数多く収められ、その中でも「初恋」は今でも多くの人に親しまれています。

三浦屋の跡地は、平成16年に「名掛丁藤村広場」として整備され、詩碑が建てられているほか、「初恋通り」と名付けられた歩行者専用通路があり、藤村と仙台の関わりを伝える場所になっています。

食 べる力を 育 む

せんだいレシピ帖

問健康政策課
☎214・3894

里芋ごはん



六郷地区健康づくり推進事業で考案された健康レシピです。里芋には食塩に含まれるナトリウムの排泄を促す効果があるカリウムが多く含まれています。

材料（4人分）

- 米 …300グラム（2合）
- ☆水 …300ミリリットル
- ☆和風だし（顆粒）…小さじ1
- ☆酒 …大さじ2
- ☆本みりん …大さじ2
- 薄口しょうゆ …小さじ1
- 里芋 …150グラム（2～3個）
- シメジ …50グラム（1/2株）
- マイタケ …50グラム（1/2パック）
- ニンジン …40グラム（1/3本）
- 黒ゴマ …少々

作り方

- 1 米を洗って30分水に浸す。ざるに上げ水を切る
- 2 里芋とニンジンは皮をむいて1～1.5cm角に切り、里芋は水洗いする。シメジとマイタケは食べやすい大きさに手でちぎる
- 3 里芋を下ゆでし、ざるに上げ水気を切る
- 4 鍋に☆と③、ニンジンを入れひと煮立ちさせた後、具材と煮汁に分ける
- 5 炊飯器に米を入れ、④の煮汁と薄口しょうゆを加え、2合の目盛りの量まで水を加える。④の具材とシメジ、マイタケを加えて炊飯する
- 6 炊いたらざっくり混ぜて茶碗に盛り付け、黒ゴマを散らす。お好みで三つ葉を散らしてもよいです

食育 Point

ナトリウムの取り過ぎは高血圧の原因となります。高血圧予防には、減塩を心掛けるとともに、カリウムを取ることも大切です